

4 時代の潮流

環境の世紀といわれて久しく、また、高度情報化の進展によりグローバルスタンダードがより身近となる一方、人口減少や高齢化等による人口構造の変化、さらには全国的に頻発する自然災害など、様々な想定外の出来事が、市民の暮らしや地域が育んできたコミュニティの再構築を迫る要因となってきています。

本市は、時代の変化に翻弄されることなく、これからも奥能登地域の中心的役割を果たし、歴史を重ねられるよう、将来像を見据えつつ、今後とも着実にまちづくりに取り組みます。

5 輪島市らしさ（強み）

主に以下の3点について、本市独自の強みを活かしたまちづくりに取り組みます。

- 1 世界に冠たる「輪島塗」のまち
- 2 「朝市」を拠点とする観光のまち
- 3 世界農業遺産「能登の里山里海」を育むまち



基本構想

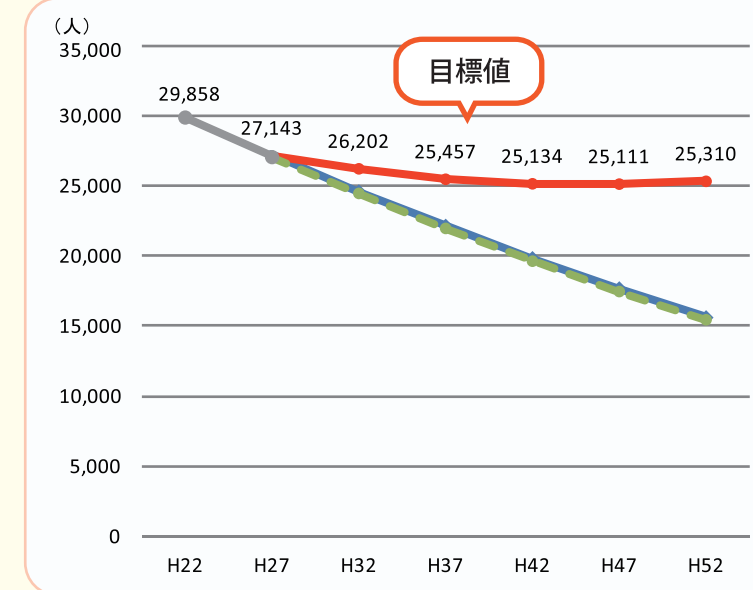
1 将来人口の目標

本計画において目標人口を、平成 38 年時点で 25,400 人と設定し、これを達成するために、人口ビジョンで掲げた人口減少問題に取り組む3つの基本的視点を本計画の諸施策に盛り込むこととします。

《人口減少問題に取り組む3つの基本的視点》

- 1 若い世代が安心して暮らせる環境の整備
- 2 若い世代が安心して結婚・出産できる環境の整備
- 3 移住者受け入れ体制の充実による定住の促進

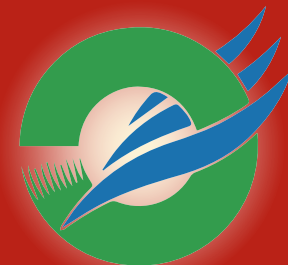
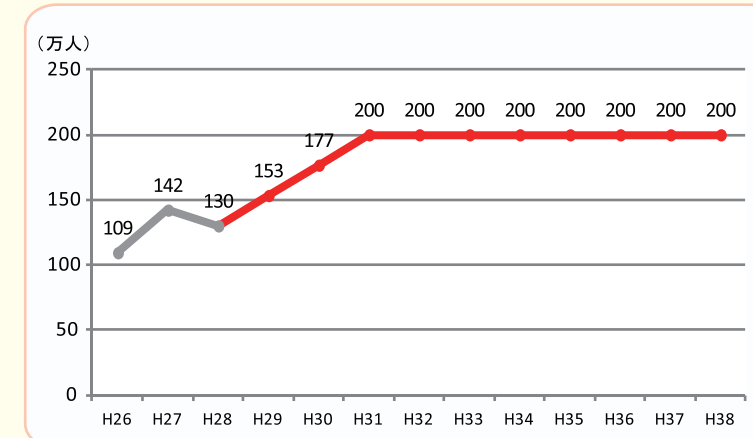
- ①平成 27 年国勢調査時点を基準とする
コーホート要因法の推計値
- ②人口ビジョンの目標人口達成のための
シュミレーション
- ③人口ビジョン策定時に推計したコーホート要因法の
推計値(2010年の国勢調査を基準とした国立社会保
障・人口問題研究所による推計)
- ④現在までの数値



2 交流人口（観光客入込概数）の目標

本市のまちづくりの柱をなす「交流目標人口」について、総合戦略で定めた、平成 31 年度の交流目標人口 200 万人の達成を前提に、それ以降、平成 38 年度まで、安定して同水準を堅持することを目標とします。

- 目標値
- 現在までの数値



輪島市

発行日 平成 29 年 3 月
発行 石川県 輪島市
企画・編集 輪島市 交流政策部 企画課

〒928-8525 石川県輪島市二ツ屋町 2 字 29 番地
TEL：0768-23-1113 FAX：0768-23-1855
URL：http://www.city.wajima.ishikawa.jp/



第2次

輪島市総合計画

概要版

平成 29 年度 ▼ 平成 38 年度

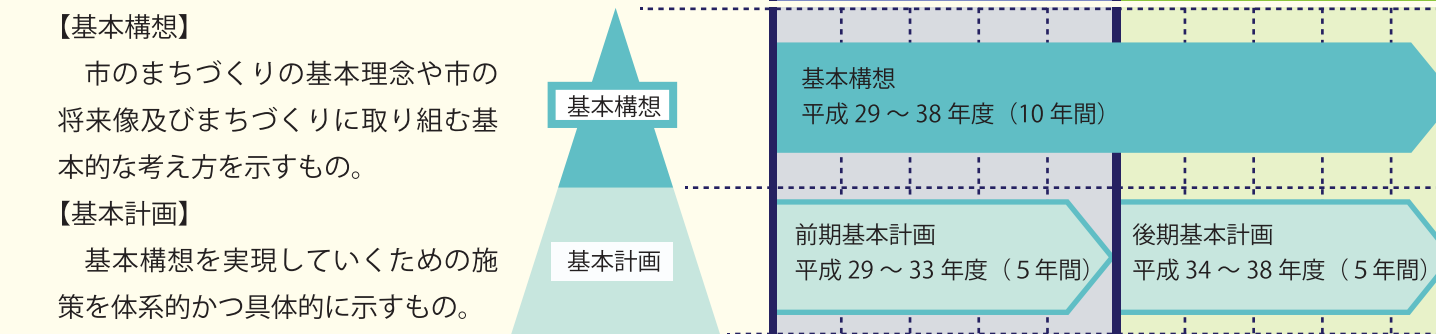
策定の趣旨



1 第2次輪島市総合計画策定の趣旨

第1次総合計画及び総合戦略で掲げた政策分野の重要性を尊重し、基本的な考え方を踏襲しつつ、「まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」を踏まえ、本市らしさを今後 10 年間の施策展開に活かし、よりよい成果が得られるよう、基本構想と基本計画の2編により、諸施策のあり方をとりまとめました。

2 計画の期間と構成



3 総合戦略との関連

本計画と総合戦略は、相互に政策的な整合を図りつつ、よりよいまちづくりに向けたあるべき姿と諸施策をとりまとめるものです。

今後、一定の人口規模の確保が行政運営における課題となる中、総合戦略で人口確保対策を図りつつ、総合計画に沿って施策を推進することで本市全体の振興・発展を進めるという相乗効果により、ハード、ソフト両面において、より効果的・効率的な行政運営を推進することを目指します。

第2次総合計画 輪島市の H29～38 年度にわたる今後 10 年間の地域づくりに関する全分野を網羅した計画

市民と行政の協働によるまちづくり

安全・安心・快適なまちづくり

活力を生み出すまちづくり

健やかに過ごすまちづくり

ふるさとを学び誇るまちづくり

まち・ひと・しごと総合戦略

人口減少と地域経済縮小を克服するための「まち・ひと・しごと」の創生と好循環確立に向け H27～31 年度の 5 年間の重点事業を総合的に体系化した戦略

発行日 平成 29 年 3 月
発行 石川県 輪島市
企画・編集 輪島市 交流政策部 企画課

〒928-8525 石川県輪島市二ツ屋町 2 字 29 番地
TEL：0768-23-1113 FAX：0768-23-1855
URL：http://www.city.wajima.ishikawa.jp/

《基本理念》

本市は、第1次総合計画において、本市が有する豊かで美しい里山里海、匠の文化、ものづくり産業、個性豊かな祭り、伝統行事、文化遺産等の様々な地域資源を最大限に活用し、まちづくりを推進することをまちづくりの基本理念としました。

さらには、時代の流れに柔軟に対応しつつ、地域の課題を克服し、暮らしやすいまちづくりを進めるため、市民と行政が目標に向かって協働し、創意工夫によって活力に満ちたまちづくりを推進することも基本理念としていることから、本計画においても第1次総合計画で掲げたまちづくりの基本理念を踏襲することとします。

《将来像》

本計画においても、第1次総合計画で掲げた「市民と行政が一体となって、連携・協働のもとに、“住んでみたい”、“ずっと住んでいたい”と思える「まち」を目指し、住んで楽しく、訪ねてうれしい、人が行き交うにぎわいのある輪島市を創造するに当たって、まちづくりの基本理念と同様に、将来像を踏襲することとします。

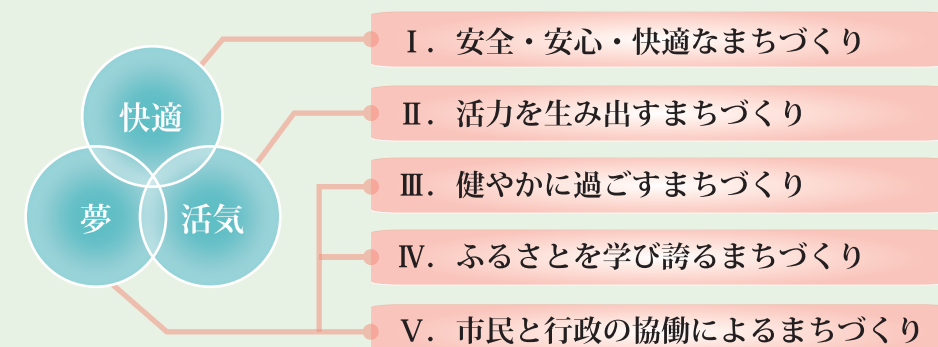
「あいの風」は「あえの風」ともいい、日本海の沖合から陸へ吹く北東からの風のことで、古くは万葉集にも詠まれた「東風（あゆの風）」が転じたものです。かつて、あいの風を帆に受け、日本海を往来する北前船が、本市に活力と文化の多様性をもたらしました。「あいの風」は、本計画においても本市のこれからのまちづくりに欠かせないキーワードであると考えています。

《基本方針》

- 快適** …豊かな自然と共生し、いつまでも暮らし続けます。
- 活気** …交流により活力を高める人財を確保します。
- 夢** …輪島への愛着を持ち続け、輪島で学ぶことに価値を見出します。
…市民がまちづくりに積極的に関わる意義を理解し、できることに取り組みます。

まちづくりの基本理念に基づき、輪島市の将来像を実現するために、本市らしさを活かし、若い世代や移住者をターゲットとする定住環境と国内外との交流をこれからのまちづくりの柱とし、以下に掲げる5つのまちづくりの基本方針によって、市民との協働によるまちづくりを進めることで、まちの求心力を強め、持続的な発展につなげていきます。

《施策展開の視点》



基本計画

《基本理念》

地域特性と市民の知恵を最大に活かしたまちづくりの推進

《将来像》

“あいの風がはぐくむ快適・活気・夢のまち”

《基本方針》

快適

I. 安全・安心・快適なまちづくり

- ◆コミュニティを支える都市機能の適正な配置
- ◆交通ネットワークの充実



環境の世紀といわれて久しく、また、高度情報化の進展によりグローバルスタンダードがより身近となる一方、人口減少や高齢化等による人口構造の変化、さらには全国的に頻発する自然災害など、様々な想定外の出来事が、市民の暮らしや地域が育んできたコミュニティの再構築を迫る要因となってきています。
本市は、時代の変化に翻弄されることなく、これからも奥能登地域の中心的役割を果たし、歴史を重ねられるよう、将来像を見据えつつ、今後とも着実にまちづくりに取り組みます。

活気

II. 活力を生み出すまちづくり

- ◆積極果敢な産業振興支援
- ◆働く選択肢の多様化と担い手の育成支援



多様な交流機会を生み出すことで、地域の活力を高め、有為な人財が確保されることで新たな市場開拓等につなげるため、戦略的交流による地域振興、活力に富む産業振興、多様な就労機会の創出に取り組みます。
特に、漆器と観光の2分野において積極果敢な産業振興により他産業への効果の波及につなげるとともに、若い世代や移住者等が働く選択肢を増やし、産業の担い手育成に努めます。

夢

III. 健やかに過ごすまちづくり

- ◆出会い・出産・子育て支援



人口減少に歯止めをかけ、地域の活力を高めるために、様々な場面で女性の力をまちづくりに生かせるよう、女性が活躍できるまち、地域で支え合う福祉の増進、生涯にわたる健康づくりに取り組みます。若者世代の子育て環境を整えるため、出会い・出産・子育ての各段階で当事者等を支える環境づくりに努めます。

IV. ふるさとを学び誇るまちづくり

- ◆市民のアイデンティティ醸成



本市が有する自然豊かな里山里海や歴史と伝統文化を身近に感じることが出来る素晴らしい教育環境のもと、個性や能力の伸長に努める一方、社会の構成員として社会を支え、貢献すべき人間となるよう、困難に打ち克つ人づくり、伝統・文化を次代につなぐまちづくりに取り組みます。
特に、子どもからお年寄りまで、市民の誰もが、輪島に生まれ、暮らすことを誇り、ふるさとを愛する人づくりに向けて、市民のアイデンティティ（地域への帰属意識）の醸成に努めます。

V. 市民と行政の協働によるまちづくり

- ◆施策の推進エンジン拡充
- ◆多彩な人財の活躍機会創出



これからのまちづくりは、行政だけで行えるものではなく、成熟した地域社会において官民の役割分担を明らかにしつつ、行政経営基盤の強化とともに、さらなる市民との協働によるまちづくりの展開に取り組みます。
特に、多様な施策を推進するためのけん引役となるまちづくり体制、基盤の拡充とともに、多彩な人財が活躍できる機会の創出に努めます。



I-1. 持続可能なまちづくり

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 計画的な土地利用の推進 | 2. 豊かさを実感できる住生活の実現 |
| 3. 道路網の整備・更新 | 4. 交通ネットワークの整備・更新 |
| 5. IoTの活用・推進 | 6. 上下水道の普及・管理 |
| 7. 公園や緑地の適切な管理 | 8. 移住・定住環境の整備 |



I-2. 安全・安心なまちづくり

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 消防・救急体制の充実 | 2. 防災対策・対応力の強化 |
| 3. 防犯・交通安全対策の推進 | |



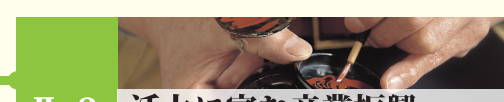
I-3. 自然・景観の保全・活用

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 自然・歴史的景観の保全・活用 |
| 3. 循環型社会の形成 | |



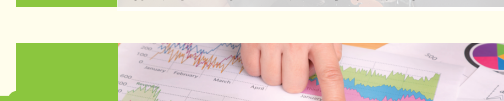
II-1. 戦略的交流による地域振興

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. ツーリズムの振興 | 2. 国内外の交流促進 |
| 3. 交流拠点機能の強化 | |



II-2. 活力に富む産業振興

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 漆器産業の強化 | 2. 商工業の振興 |
| 3. 農林業の振興 | 4. 水産業の振興 |
| 5. 地域ブランドの開発・発信 | |



II-3. 多様な就労機会の創出

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 起業・創業支援 | 2. 継続した企業誘致 |
| 3. 多様なニーズに対応した就労支援 | |



III-1. 女性が活躍できるまちづくり

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 出産・子育て環境の充実 | 2. 男女共同参画の推進 |
|----------------|--------------|



III-2. 地域で支え合う福祉の増進

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 地域福祉の充実 | 2. 児童福祉の充実 |
| 3. 高齢者福祉の充実 | 4. 障害者福祉の充実 |



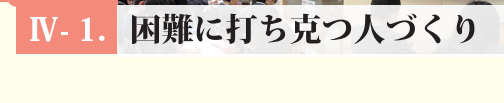
III-3. 生涯の健康づくり

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 地域医療拠点機能の充実 | 2. 健康づくりの推進 |
|----------------|-------------|



IV-1. 困難に打ち克つ人づくり

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 学校教育の充実 | 2. 地域コミュニティの強化 |
| 3. 地域で取り組む教育力の向上 | 4. 生涯学習の推進 |
| 5. スポーツによる人づくり | |



IV-2. 伝統・文化を次代につなぐ

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 文化・芸術活動の推進 | 2. 文化財の保存・活用 |
|---------------|--------------|



V-1. 行政経営基盤の強化

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 行政サービス改革の推進 | 2. 広域連携の推進 |
|----------------|------------|



V-2. さらなる協働によるまちづくりの展開

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 多様な連携の推進 | 2. 輪島の広域ネットワーク形成 |
|-------------|------------------|

目標指標

指標	現状	目標値
定住促進奨励金年間交付者数	19人	40人
うちUターン者数	1人	5人
Iターン者数	18人	35人
空き家データベース登録件数	45件	100件
水道普及率	97.5%	99.1%
下水道普及率	79.6%	84.3%
1日1人あたり家庭系ごみ排出量の減少	509g	480g
リサイクル率の向上	14%	20%

指標	現状	目標値
観光客年間入込概数	132万人 (H28年)	200万人
年間宿泊客数	19万人 (H28年)	30万人
フィルムコミッション年間受入件数	14件 (H28年)	30件
輪島漆器年間生産額	42億円	60億円
30代以下の漆器産業従事者数	36人	40人
起業新規出店支援数	9件	60件
農産品の年間売上高	21億 9,400万円	25億円
水産品の年間売上高	38億円	46億円

指標	現状	目標値
生後3か月未満児の全戸訪問実施率	99.1%	100%
生活圏域ごとの訪問系通所系地域密着型サービス実施率	25.0%	66.7%
市立輪島病院常勤医師数	17人	21人
特定健康診査受診率	41.0%	60.0%
特定保健指導実施率	56.6%	60.0%
後期高齢者健康診査受診率	14.6%	35.0%

指標	現状	目標値
全国規模のスポーツ大会出場者数 (ジュニア)	35人 (1団体)	100人
公認スポーツ指導者数	30人	50人
各種スポーツ教室数	60教室	100教室
体育施設年間利用者数	24万人	30万人
30代以下の漆器産業従事者数 (再掲)	36人	40人

指標	現状	目標値
実質公債費比率	14.3%	13%以下推移
一般会計市債残高	318億円	10億円以上削減/年(※)

※臨時財政対策債を除く。

原則として、現状は平成27年度、目標値は平成38年度とし、それ以外の場合は注を付しています。